

#### 4 専門科目（水田経営学科）

科目名	先進農家等留学研修	区分	専門科目	単位	5	総時間	225
学 科	全経営学科共通			学 年	1		
到達目標	先進的な農業を実践している農業者・農業法人の経営や技術、生活を実際に体験することにより、農業に対する取組や考え方を直接肌で感じ取り、豊かな農業観や職業観を学ぶ。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 実施計画		(1) 実施計画の作成			2週間	
	2 研修		(1) 実施計画に基づく研修の実施				
使用テキスト	無						
参考図書	無						
評価の要素	学習態度、課題提出						

科目名	経営研修	区分	専門科目	単位	2	総時間	90
学 科	全経営学科共通			学 年	1～2		
到達目標	県内外の先進的な取組や流通・販売、さらには関係機関や施設等を見学することにより農業に関する幅広い知識を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 県内研修		(1) 各学科で企画し実施			3日	
	2 県外研修		(1) 各学科で企画し実施			2日	
	【選択1】 3 企画研修		(1) 学生が企画立案し実施			3日	
	【選択2】 4 海外農業研修		(1) 海外の農業経営等を調査			7日	
使用テキスト	無						
参考図書	無						
評価の要素	学習態度、課題提出						

科目名	水田経営基礎	区分	専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	水田経営学科			学 年	1		
到達目標	水稲、主要畑作物の形態、生態、生育、栽培管理などについて、基礎的な知識を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 水稲		(1) 水稲の形態 (2) 水稲の生態、生育 (3) 水稲の栽培管理の基礎 (4) 米の品質・利用、気象災害			1～6	
	2 小麦		(1) 小麦の形態、生態、生育 (2) 小麦の栽培管理の基礎			7～8	
	3 豆類		(1) 大豆の形態、生態、生育 (2) 大豆の栽培管理の基礎 (3) 小豆、落花生の形態、生態、生育、栽培管理の基礎			9～10	
	4 イモ類		(1) パレイショの形態、生態、生育、栽培管理の基礎 (2) カンショの形態、生態、生育、栽培管理の基礎			11～12	
	5 その他の畑作物		(1) ソバの形態、生態、生育、栽培管理の基礎 (2) コンニャク、ハトムギの形態、生態、生育、栽培管理の基礎 (3) エゴマ、ナタネの形態、生態、生育、栽培管理の基礎			13～14	
使用テキスト	『新版 作物栽培の基礎』農山漁村文化協会、配付資料						
参考図書	『福島県稲作・畑作指導指針』						
評価の要素	筆記試験、学習態度						

科目名	水田経営応用	区分	専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	水田経営学科			学 年	1		
到達目標	水稲、主要畑作物の分類、起源、生育診断技術、栽培管理技術、流通、加工等について学び、経営基礎からさらに深化した知識を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 ダイズ		(1) 分類、起源、生理、流通 (2) 品種、品質、加工適性、栽培管理			1～2	
	2 ソバ		(1) 分類、起源、生理、流通 (2) 用途、栽培管理、加工			3～4	
	3 イモ類(バレイショ・カンショ)		(1) 分類、起源、形態、流通 (2) 品種、栽培管理、加工			5～6	
	4 コムギ		(1) 分類、起源、生理、流通 (2) 品種、小麦粉の種類と品質、栽培管理、加工、流通			7～8	
	5 水稲		(1) 種子の構造と発芽、苗質、育苗技術 (2) 施肥設計、施肥・移植・水管理技術、分けつの分化と発達 (3) 雑草、病害虫の防除 (4) 生育診断技術、出穂期前後の管理 (5) 収穫・乾燥・調製技術、流通			9～12	
	6 GAP		(1) GAPの概要			13～14	
使用テキスト	『作物学の基礎Ⅰ 食用作物』農山漁村文化協会、配布資料						
参考図書	『福島県稲作・畑作指導指針』、『コンニャク全書』、『日本の特農産物』						
評価の要素	筆記試験、学習態度						

科目名	水田経営実践	区分	専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	水田経営学科			学 年	2		
到達目標	稲作、畑作経営の現状や課題、環境負荷軽減技術、低コスト化技術、放射性物質吸収抑制技術等について学び、また、ゼミナール形式での学習を通し、実践的な経営能力を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 稲作		(1) 穂・稈の構造と役割、出穂・開花・受精・登熟 (2) 米の品質と食味 (3) 米の多目的利用、気象災害、水田土壌の特徴 (4) 稲作の現状と課題、直播栽培等低コスト技術 (5) 新しい稲作技術(直播を除く) (6) 環境負荷軽減技術、放射性物質の吸収抑制技術、FOEAS (7) 稲作関連の法令・政策、福島県の施策等			1～7	
	2 畑作		(1) コンニャクの分類、起源、生理、流通 (2) 作付け様式・作付け方式、連作障害と対策 田畑輪換、FOEAS (3) 単一経営と複合経営 (4) 放射性物質の吸収抑制技術			8～10	
	3 共通		(1) 卒論関連文献の読解(ゼミ形式)			11	
	4 GAPの実践		(1) 帳票の作成 (2) 模擬審査			12～13 14	
使用テキスト	『作物学の基礎Ⅰ 食用作物』農山漁村文化協会、配布資料						
参考図書	『福島県稲作・畑作指導指針』						
評価の要素	筆記試験、学習態度						

科目名	食品製造演習	区分	専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	水田経営学科			学 年	1		
到達目標	本校で生産される農産物を加工し、農産加工に関する基礎技術を習得するとともに、農産加工による付加価値化の意義を理解する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 イモ加工		(1) 菓子加工			1～2	
	2 コンニャク加工		(1) コンニャクイモから作る、手作り板コンニャク加工			3～4	
	3 大豆加工		(1) 豆腐加工			5～6	
	4 米加工		(1) 麴加工			7～8	
	5 大豆加工		(1) みそ加工			9～10	
	6 小麦加工		(1) 小麦の酵母発酵 中華饅			11～12	
	7 そば加工		(1) 手打ちそば、菓子加工			13～14	
使用テキスト	無						
参考図書	配付資料						
評価の要素	課題提出、演習態度、出席						